16小学

　英　公　　、　ａ㆓ 　㆒。

　姉　、　　ｂ　㆑　㆑ 。

火　㆓ 　㆒。姉　、「　　　矣。①何　為　自　苦　如　此。」

勣　、「②豈　為㆑ 無㆑人　耶。 今　姉　年　、  
　。㆑㆓ 　　㆑ 　㆒㆑、③　㆑　。」

＊語注

＊李勣…唐の太宗に仕えた名臣。英国公に封ぜられた。

＊僕射…尚書省の長官。大臣のこと。

＊僕妾…下男下女。召使いの男女。

問１　＝　線部ａ・ｂの「為」の読みをそれぞれ次から選び、記号で答えよ。

ア　なせ　　イ　な　　ウ　ため　　エ　た

ａ＝（　　　）　　ｂ＝（　　　）

問２　―線部①の読み方を次から選び、記号を○で囲め。

ア　なんぞなしてみづからにがしとしてかくのごとけん、と。

イ　なんすれぞおのづからくるしむことこれにしかんや、と。

ウ　なんのためにおのづからくるしむことかくのごとし、と。

エ　なんすれぞみづからくるしむことかくのごとき、と。

問３　―線部②を書き下し文に改めよ。

〔　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　〕

問４　―線部③を現代語訳せよ。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　〕

問５　本文に合致する説明として最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　李勣の姉は、自分が病気になると必ず弟に粥を作らせた。

イ　李勣は料理が苦手だったが、病気の姉のために粥を作った。

ウ　李勣は、姉が多くの下男下女を雇っていることを知らなかった。

エ　李勣と姉は幼少期から仲が良く、年老いてもそれは変わらなかった。

オ　李勣は高い地位を得てからも、姉のために自ら粥を作ることにこだわった。

【解答】

問１　ａ＝エ　ｂ＝ウ

問２　エ

問３　豈に人無しと為さんや。

問４　再びできるでしょうか（、いやできないでしょう）

問５　オ

書き下し文　　唐の英公李勣は、貴きこと僕射たり。其の姉病むに、必ず親ら為に火を然やして粥を煮る。火其の鬚を焚く。姉曰はく、「僕妾多し。何為れぞ自ら苦しむこと此くのごとき。」と。勣曰はく、「豈に人無しと為さんや。顧ふに今姉年老い、勣も亦た老ゆ。数〻姉の為に粥を煮んと欲すと雖も、復た得べけんや。」と。

現代語訳　　唐の英公李勣は、高官である僕射となった。彼の姉が病気のとき、必ず勣は自分で姉のために火をおこして粥を煮た。（その）火で自分のひげをこがした。姉が言うには、「（あなたには）下男下女も多い。（それなのに）どうして自分でそのように苦労するのか。」と。勣が言うには、「決して（粥を作る）人がいないからではありません。しかしながら今お姉さんも年をとられ、私もまた年をとりました。（これから）たびたびお姉さんのために粥を煮ようとしても、再びできるでしょうか（、いやできないでしょう）。」と。